

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2025年11月23日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙祷		一同
讃美※	讃美歌216「ああ、うるわしき」	一同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃美	讃美歌332「主はいのちを」	一同
教会学校	絵本「靴屋のマルチン」	牧師
讃美	讃美歌520「静けき河の岸辺を」	一同
聖書朗読	イザヤ41:1-4	
奨励	イザヤ書の福音(第13回)	牧師
主題	「苦難から解放する神」	
讃美	讃美歌291「主にまかせよ」	一同
献金	献金と感謝の祈り	
聖餐		
頌栄※	讃美歌543「主イエスの恵よ」	一同
祝祷※		牧師
来週の箇所		

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの方様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧説をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチヤン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何よりも大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（2コリント9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース

《今週の歩み》

11/23(日)聖日礼拝(勤労感謝日)
/24(月)振替休日
/25(火)
/26(水)
/27(木)10:00祈り会
/28(金)10-12:OBSクラス
/29(土)13-16子供オーブンハウス



《祈りの課題》

- ①家族の救いのために
- ②礼拝に来れなかった人々のために
- ③教会学校の子供たちが救われますように



(原画:1984年購入)

「北根黒松の寄付、旭ヶ丘購入へ」

ミッション史の一コマ

「四谷ミッションの歴史」⑫(2000-2025)から

2002年、仙台の北根黒松で伝道をしていた千田氏から、「ミッションに寄付をしたい」との申し出がありました。「もし自分に何かがあった場合、個人名義で所有している教会と牧師館が遺産相続の対象となってしまうことを避けるため」という理由でした。

千田氏は1992年北根黒松の土地と建物を購入しました。その際、融資したのが四谷ミッションでした。2002年に財団法人だった四谷ミッションにその土地と建物を寄付。ところが翌2003年、千田氏が知人の牧師と再会したことから思わぬ形で教会が南光台へ移転することになりました。その方は親族が経営する幼稚園を引き継ぐことになつたけれど、法人ではなかつた幼稚園の相続税の支払いのため、新築の自宅を売ることになったということです。集会が出来るよう「黙想の家」として献堂していた自宅なので、できれば伝道をしてくれる人に売りたいということでした。

現地を見に行ったところ、地下鉄からのアクセスも良く、北根黒松の教会員も通いやすい所にありました。新築で駐車場もあります。何より千田氏が驚いたのは、[1989年の開拓当初から]週報に利用していたクリップ・アートとそっくりな建物だったことです。四谷ミッションも了承し、北根黒松の教会堂を売却して移転、「旭ヶ丘キリストの教会」として新生することになったのです。先方は相続税の支払期限があるため、まずは購入、その後に北根黒松の会堂を売却することになりました。2003年6月旭ヶ丘キリストの教会の新会堂感謝記念礼拝が持たれました。

2007年に竹村夫妻が北根黒松の会堂を自宅として購入してくださることになりました。竹村夫妻は旭ヶ丘キリストの教会員で、現在も毎週礼拝に通っておられます。千田夫妻は旭ヶ丘教会の二階で暮らしながら伝道を続けておられ、2023年千田氏が四谷ミッションの責任役員に就任されました。